



加治丘陵だより

令和5年5月16日

第38号

NPO法人
加治丘陵山林管理グループ

E-mail admin@npo-kajikyuryo.net URL http://www.npo-kajikyuryo.net

令和5年度のスタートにあたり

理事長 今野 栄之



昨年度までの3年間は新型コロナウイルス感染症による規制の中、作業活動も大変でした。暑い夏は水分補給とマスクの使用、冬はナラ枯れ伐採約60本と私たち老体には大変な重労働でした。

しかし、令和4年度は会員の安全も保たれ、森林整備活動では、下草刈り約123,000㎡、樹木伐採約130本、丸太階段約20段、丸太ベンチ2基、入間市博物館茶屋の園名柱1本およびふれあいの森の整備等を達成しました。もう一つの活動の柱である子どもの健全育成を主目的とする森林活用活動では、県内の小学生から大学生までの多くの人に参加され大変盛り上がった埼玉県共助コバトン地域応援団実施の「コナラ伐採見学とヒノキ皮むき体験」への協力、創立20周年記念行事の写真と木工品展示会開催、記念ベンチテーブル2基の入間市への寄贈、いるまなか散歩・いるまハッピークリスマス・イルミネーションまつりの各イベントでの会員作製の間伐材利用木工品展示・活用など勢力的に邁進しました。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症も収まり、総会も通常通り会員の皆様と対面で出来ると思います。年間活動予定については前年度同様と思われませんが、重要課題となっている作業器具類から発生するCO2の削減や騒音防止対策として刈払い機の一部電動化を計画しております。また別の課題として、加治丘陵も含む埼玉県全体に発生し続けているナラ枯れ被害の問題があります。下層植生の除去と一部高木の伐採による近年主流の公園型里山整備方法が、風通しの良い明るい林を造り、ナラ枯れを引き起こすカシノナガキクイムシの誘引されやすい環境を作っていることが原因と考えられています。この問題に対しても市民の安全と森林の健康を守るために、会員の健康を第一に考えながら、真剣に考えていきたいと思えます。それには、行政の御指導と正会員、賛助会員の皆様のご協力無しでは健康な深緑の加治丘陵は造れません。よろしくお願いたします。

令和4年度下半期活動状況

1. 森林整備活動

(1) 作業実績

・当期の作業実績は次のとおり。

下草刈り：52,128㎡ 樹木伐採：64本 倒木伐採処理：57本
丸太階段新設・補修：17段

(2) 主な活動内容

- ① 令和4年度加治丘陵全域にナラ枯れの被害が発生、散策者の危険防止から緊急対策として遊歩道沿いの被災木伐採を実施
- ② 下草刈り、倒木の処理や階段の新設・補修を実施



下草刈り



樹木伐採



階段構築

2. 森林活用活動および関連活動

(1) 木工品作製サークル活動

サークルは毎週水曜日（当日祝日の日は休み）活動しており、会員の方々が楽しみながら木工品の作製に取り組んでいます。

今期は、12月23日に開催された「いるまハッピークリスマス」において展示されたフィンランドの妖精人形“トントゥ”を作製するための材料および3月18日開催の「イルミンまつり」で販売された木工品を中心に各自好みのものを頑張って作製しました。

(2) 子どもの健全育成活動

コナラ伐採見学とヒノキ皮むき体験イベント

埼玉県が主催する「共助コバトン地域応援団体験サポーター事業」の体験・取材活動に協力しました。当グループの役割は「体験活動（当グループの活動紹介座学、コナラ伐採見学および皮むき体験）の指導」および「現場安全管理・移動時の誘導」で会員13名が参加しました。

実施は10月16日(日)で、埼玉県内の小学生から大学生までの13名（他に同伴家族有）が参加され楽しく皮むき体験等に取り組んでいました。

また、12月17日(土)には大宮で共助コバトン地域応援団の総合成果発表会が開催されました。当グループからも3名が招待され参加しました。参加者から改めて加治丘陵内での体験の楽しかったことが報告されました。



伐採木の切り口観察



参加した子ども達



親子で皮むき体験

親子ハイキング

11月28日(日)、NPO法人子育て家庭支援センター「あいくる」が募った4組赤ん坊も含めた10名のご家族と3名の支援者が参加されました。当グループからは5名の会員が参加しました。

9時30分にさとやま管理事務所前を出発して南コースを東方向へ進み、自然探勝路入口で左折して山歩きの魅力ある自然探勝路を下り上りし、上がりきったところの広場で小休憩するとともに親子ごとの家族写真撮影を行ったあと、北コースを阿須山、もみじ等の紅葉が素晴らしいふれあいの森と進み、山仕事の広場へ向いました。山仕事の広場では休憩をとり、さとやま管理事務所前へ戻りました。子ども達の好奇心は強く、元気に興味のあるどんぐり等植物や虫を観察していました。子ども達に素晴らしい思い出となり、加治丘陵で再会できることを期待して解散しました。



元気に歩く親子



草木観察



参加した親子

(3) 入間市博物館(アリット)茶屋青丘庵への標柱作製



改修披露式記念写真

澤田博物館館長よりの依頼で作製・設置した入間市博物館茶屋『青丘庵』標柱の改修披露式が9月17日(土)中田教育長様、西武中学校早川校長様、入間市茶道連盟会長田中様、島崎理央様(『青丘庵』題字者の中学生)とお母様、澤田様および関係者様、当グループからは今野理事長の出席で開催されました。

作製した標柱は、基礎にフェンスブロック、本体に加治丘陵「ふれあいの森」のヒノキ間伐材を使用し、筆文字『青丘庵』に関しては、島崎理央様から預かった原本のコピーを基に削り込みました。

(4) フィンランドの妖精「トントゥ」の材料作製

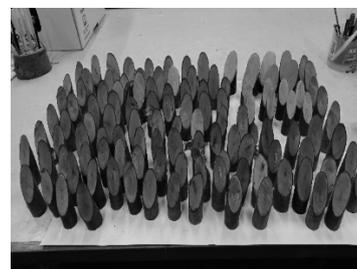
12月23日入間市駅前南口で開催された入間市役所商工観光課主催の「いるまハッピークリスマス」で展示されたフィンランドの妖精人形「トントゥ」の本体(大20体 小100体)を加治丘陵間伐材から作製し提供しました。その後、埼玉県立入間わかき高等特別支援学校の学生さんが妖精の絵を描き、展示された「トントゥ」はクリスマスの夜をにぎやかに飾っていました。



大きい自立トントゥ



見学市民作製トントゥ



小さいトントゥの本体

(5) 木工品販売出店 (イルミンまつり)

3月18日(土)に入間市市民活動センターで開催されたイルミンまつりのバザーへ出店。

木工品作製サークル参加会員が、日常のサークル活動で作製した木工品約290個を展示・販売しました。

当日は、イルミンまつりに参加している多くの人々が店に立ち寄りくださり、木工品を購入していただきました。



手作り木工品



多くの人々が来店

3. 入間市都市計画課主催の講習会への参加

入間市都市計画課主催の「加治丘陵山林管理ボランティア講習会」が12月21日(水)入間市博物館で開催され、埼玉県環境科学国際センターの角田講師による“シカが生物多様性を低下させる!?”の講義を受けました。当グループからは会員8名が参加しました。

4. NPO基礎講座

『事業報告書等の作成に必要なNPO法人会計について』に参加

1月25日(水)にウスタ川越で開催され、今野栄之 久下栄 宮寺茂子の3名参加しました。公認会計士・税理士深谷豊氏による講義で、NPO法人の会計の概要、NPO法人の日々の会計実務と決算処理方法およびインボイス制度について説明されました。

今後のNPO法人の運営においても貴重な講義でした。

5. 第11回いるま環境フェア開催

『どうする人間市 脱炭素社会実現に向け いるまの環境について考えよう』をメインテーマとして、2月18日(土)に藤沢公民館で開催されました。当グループからは3名が参加しました。

第1部は、市長による「官民共創によるWell-being City いるまの実現」のタイトルでの講演で、気候変動、ゼロカーボンニュートラル、SDGs未来都市などを背景に人間市の令和4年度取組状況および5年度以降の展望について講話されました。

第2部は、ワークショップ「どうするいるまの環境」で、“地球温暖化をとりまく様々な課題に関する人間市の将来について市民や市民団体ができること”をテーマに市長を交えて参加者での意見交換会を行いました。

6. 会員親睦行事

(1) 健康ハイキング会開催

毎月1回月末ごろに実施しています。【会員ならどなたでも参加できます。】

《第14回 1月27日実施 8名参加》

西武鉄道飯能駅～芦ヶ久保駅～あしがくぼ水柱～芦ヶ久保駅～西吾野駅～子の権現～西吾野駅～飯能駅

《第15回 2月25日実施 10名参加》

西武鉄道飯能駅～西武秩父駅～秩父鉄道秩父駅～野上駅～長瀨アルプス～宝登山～長瀨駅～飯能駅

(2) 楽山ゴルフ大会

第25回楽山会ゴルフ大会が、11月10日(木)さいたまゴルフクラブにおいて会員14名参加で開催され、奥園幸典会員の優勝で幕を閉じました。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 記念記録 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

当グループの20周年に開催された今大会で小林会員が20回目のエイジシュートの偉業を達成されました。おめでとうございます。

令和5年度上半期活動予定

1. 森林整備活動

(1) 作業予定

- 上半期の作業予定は、作業内容と作業量とも前年度と同程度で、次のとおり。
下草刈り：71,104㎡ 樹木伐採：80本 倒木皮むき：80本
その他丸太階段新設・補修予定あり

令和5年度も全員で安全第一を目標にして作業に取り組んでいきます。
皆様、ご協力をお願い致します。

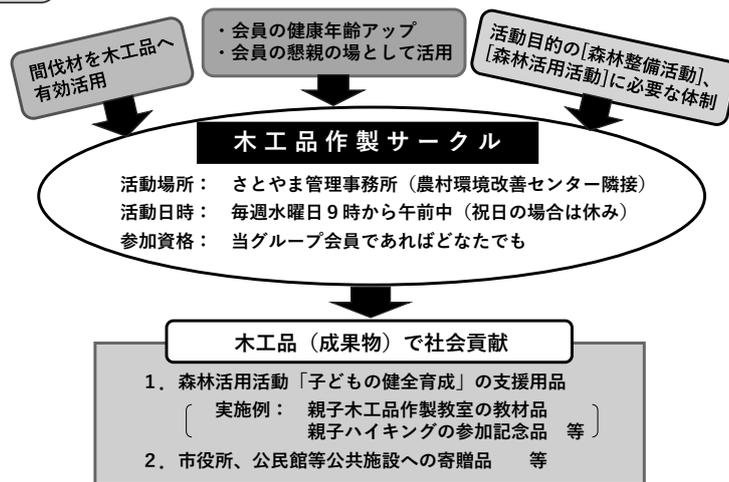
2. 森林活用活動および関連活動

(1) 木工品作製サークル活動

万燈まつりでの販売用、里山フェアでの教材や販売用、その他寄贈品用として必要となる木工品の作製を中心に活動予定

(2) 子どもの健全育成活動

親子ハイキング、里山フェアでの木工品作製教室等実施予定



木工品作製サークルの役割図

3. 行事等予定

- ・ 4月16日 安全研修
- ・ 4月17日 入間市都市計画課との意見交換会
- ・ 4月22日～23日 おとうろうまつり参加
- ・ 6月18日 通常総会

【各イベントの詳細情報や参加ご希望の方は電話・FAXで事務所へご連絡下さい。】

4. 会員親睦行事予定

- ・ 健康ハイキング会 各月下旬に開催予定
- ・ 楽山ゴルフ大会 5月11日(休)いたまゴルフクラブで開催予定

会員情報

【令和5年3月末の会員数】 正会員：119名 賛助会員：10社

新入会員をご紹介下さい

お知り合いの方で、我々の活動にご興味を持っておられる人はいらっしゃいませんか。
ホームページ (<http://www.npo-kajikyuryo.net>) からお申し込み下さい。

新会員紹介 ～グループ活動に参加して～



会員No.522 古川 日出夫

昨年6月に会社を定年退職し、NPO法人加治丘陵山林管理グループに入会しました。入間市に移住したのは34年前です。通勤していた池袋まで乗り継ぎ無しで行け、しかも、周りに多くの自然のある環境が気に入り移住先を入間市に決めました。

会社を退職後、何か体を動かせる活動をしたと考えていたところ、参加したイルミン主催の霞川を歩く会で、当グループのことを知り入会を決めました。加治丘陵で行う活動がどのようなものか、具体的に行う作業がどういうものか心配でした。以前の仕事と違い全く経験したことのない山仕事で不安でした。

はじめは何もわからず不安であった作業も、先輩の方々に教えていただきながら取り組んでおり、何とか先輩たちについていけています。

これからも頑張っていきますので、ご指導の程よろしくお願い致します。



会員No.519 中島 昇

《これからは、好きな自然と触れ合いながら社会貢献ができればいいな》漠然と考えていました。

そんな時、【加治丘陵さとやま巡視員募集】の記事が。

家から近いし山歩きは得意、健康維持にもなりそうだと思い、早速申し込メンバーに加えていただきました。巡視活動は、山歩きをする市民の安全を考え、ごみを拾ったり危険個所や木・生き物等自然環境の保全を確認したりする活動です。いつ行っても綺麗で安全な遊歩道であったのは、ほぼ毎日巡視活動をしてくださっていたからなのだと知り感謝しました。巡視しながら、山の木々・鳥・虫たちが共存して暮らす豊かな自然がそこにあることが分かりました。そして、自分は今あるこの豊かな自然を守り、次世代に渡していきたいと考えるようになったのです。

そんな時、巡視員の先輩である横山氏から【NPO法人加治丘陵山林管理グループ】の存在を聞き、お誘いも頂けたことで、仲間入りさせていただくこととなりました。

体験見学に行ってみると、皆さん揃いの作業服、安全靴にヘルメット姿。今までに経験のない活動となることは、容易に想像できました。安全第一をモットーにしている活動であることから、新入りの私には繰り返し何回も丁寧な個人指導を頂くことができました。その後、少しずつ経験していった下草刈りや木の皮むきなどの活動は、自分で体験したくてもできなかったことばかりでした。どれも思ったようには機械を操ることができず、なかなか難しいものでした。しかし、私にとっては、日々新しいことに出会い、学び経験できることが楽しく、新しい発見や感動の連続でもありました。

入会し感動したのは、活動後の片付けの時でした。多くの先輩の方々は、常に先を見通しながら、何の指示もないのに全く当たり前のことのように清掃したり道具の後片付けをしたりする姿がそこにあったのです。この光景を見て、私もいつも場を清めるよう心がけ、その学びを実践しています。また、最近は少し欲張って、間伐材を使っての木工作品を作る活動にもチャレンジして、未熟なりに一生懸命製作に挑んでいます。

全く未経験者の私が今、曲がりなりにも皆さんと一緒に活動できているのは、豊かな人生経験を持つ沢山の先輩方との出会いがあったからと感謝しております。

これからも、「ひよこの存在」である私は、道具の上手な扱い方やコツ・片付けや道具の手入れの仕方・安全な作業の進め方等々基本を大切に慎重に取り扱っていきたいと考えています。そして、私をはじめNPOの仲間の方々が、けがや事故に遭うことがないようにしっかりと学習するとともに、生き生き活躍されている人生の先輩の方から、色々学ばせて頂けるのを楽しみにしつつ、あわせて、次世代に豊かな自然環境を渡していけるように、遣り甲斐を持って活動を楽しんでいきたいと思っています。

私にとって、【NPO法人加治丘陵山林管理グループ】との出会いは、「自分が素直になれる場」「よき友との出会いの場」「楽しく居心地のよい場」です。

【令和4年度下半期新入会員】

会員No.523 今野 裕己

会員No.524 染谷 達也

会員No.525 金子 勝良

会員No.526 双木 小百合

会員No.527 石田 芳夫

～編集後記～ 新型コロナウイルス感染予防の期間が続くなか、当グループの創立20周年行事も環境条件に応じて実施されました。今回号は、21年目に向かっての当グループの活動実績を中心に報告させていただいております。これからも会員の皆様に喜ばれる機関紙を発行できるよう頑張ります。 (編集委員長 埴生信一)

発行責任者：今野 栄之

〒358-0053入間市大字仏子1397-3

☎04-2932-4515